

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (\$)	日本円	備考
授業料	8360	12540 円	
宿舍費	6695	10050 円	
食費	700	100,000 円	
図書費	140	20,000 円	
学用品費	7	1000 円	
携帯・インターネット費	70	10,000 円	
現地交通費	0	0 円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	300	45,000 円	
被服費	340	50,000 円	
医療費	0	0 円	
保険費	200	30,000 円	形態:
渡航旅費	3000	440,000 円	
ビザ申請費	200	30,000 円	
雑費	700	100,000 円	友人交際費
その他		円	
その他		円	
合計	約 20,700	約 3,105,000 円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地:羽田空港 目的地:サンフランシスコ国際空港 経由地:	
復路 出発地:サンフランシスコ国際空港 目的地:成田空港 経由地:	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社:JAL 料金:434,910 円	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴合計:	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:)	
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:JAL 公式サイト)	
<input type="checkbox"/> その他()	

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前:Unit1) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数1人)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

大学公式サイト

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

階数や部屋の場所によって割と差はあるが、自分の部屋はとても快適で過ごしやすかった。また私の寮は男女が階数で分かれていますので安心して良かったし、同じ階の子達と仲良くなれることもあり楽しく過ごした。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)

なし
あり(治療を受けた場所:)

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし
あり(問題の内容や相談した人等:)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

基本的には現地生の友人に聞くことが多かった。防犯対策としては、とても単純だが遅い時間に1人で出歩かない、遅くなってしまう時は必ず友人と一緒にいるということを気をつけた。犯罪に巻き込まれたことはなかった。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学構内や寮のインターネット接続はとても良かった。ケータイの接続についても不自由に感じたことはない。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

基本的にクレジットカード決済のみで生活していた。現金は多めに持っていったのであまり困らなかった。オンラインで決済する時はアメリカの住所が必要な場合もあったので事前にapple payなどを登録していると楽だと思う。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

特になし。基本的には高いがなんでも手に入る。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)	
1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
13 単位	<input checked="" type="checkbox"/> (現在審議中)単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Social Psychology	社会心理学
科目設置学部・研究科	Sociology
履修期間	May 22 - June 30
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 119 分が4回
担当教授	John Kaiser
授業内容	社会心理学
試験・課題など	試験は中間と期末にある。課題は1週間に1度レポート提出と、1週間に2回オンラインの掲示板のような場所に自分の意見を投稿すること。
感想を自由記入	対面形式の授業でしたが、教授が講義の録画も残してくださっていたので、自分が理解しづらかった部分やもういちど聞きたい箇所を確認することができて良かった。また、教授はとてもユニークな方で面白かったし、授業も楽しむことができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Field Study of Buildings & Cities		建物と都市のフィールドスタディ	
科目設置学部・研究科	Geography		
履修期間	May22- June30		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	フィールドスタディ(交通機関等を使って移動し、実際の街中を歩く)(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 480 分が1回		
担当教授	Seth Lunine		
授業内容	実際の街並みや建物を読み解くことで、歴史を読み解く		
試験・課題など	課題は1週間に 1 度、授業で学んだことをまとめてレポートを提出すること。また、最終レポートでは過去のレポートをまとめて街の移り変わりに関するレポートを提出した。試験はなかった。		
感想を自由記入	丸一日かけて歩きながら実際の街並みを見るというとてもユニークな授業だった。天候が寒かったり暑かったりする中 1 日歩くのはとても大変だったが、それでも自分だけではいかなぬような場所まで行けること、日本との違いを感じながらアメリカの街並みについて学べることはとても価値があったと思う。また歩く中でクラスメイトとも話す機会がたくさんあり、その点でもとても取って良かったと思っている。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Marketing		マーケティング	
科目設置学部・研究科	Walter A. Haas School of Business		
履修期間	July03-Aug11		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 149 分が 3 回		
担当教授	Mohammed Nadeem		
授業内容	マーケティングについて		
試験・課題など	試験は中間と期末で二つあった。課題は毎週あり、記事やケースについての質問に答えるというものだが、初回の授業で割り振られたチームごとに回答しなければならなかった。またプレゼン課題やフィールドワークの課題もあった。		
感想を自由記入	教授の方針が「繋がり」を大事にするという感じなので、ほぼ全ての課題はグループごとに提出だった。この授業をとっている生徒はほとんど留学生なので、アクセントなどに慣れるのはとても大変だったが、いろんな国からの優秀な生徒と話せるという点においてとても実りのある授業だったと思う。教授も優しく、できるだけ多くの生徒を覚えるように努力してくださっていた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
English Language Studies: Broadway Musicals	英語(ブロードウェイミュージカル)
科目設置学部・研究科	College Writing Programs
履修期間	July03-Aug11
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 149 分が 2 回
担当教授	David Frasca
授業内容	ブロードウェイミュージカルの歴史について学ぶ
試験・課題など	試験は期末にオープンブック形式である。課題は1週間に一本か二本映画を見てそれを批評するワークシートを提出すること。期末にはプレゼン課題もあった。
感想を自由記入	教授がとても陽気で面白い方だったので授業全体を通じて楽しく過ごすことができた。また、ミュージカルに特別興味があったわけではないが、映画を見たり、実際のミュージカルを見に行ったり、この授業でできた友人たちともミュージカルを見に行ったりする内にとっても興味を持って学ぶことができた。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	留学プログラムの存在をしり、語学要件を取得する。
	10月～12月	出願
留学開始年	1月～3月	ビザ申請、取得、滞在先の確保
	4月～7月	航空券購入、渡航
	8月～9月	帰国
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

留学先を選んだ理由は特になくて、留学に行こうと思い立った時にたまたまメールを受け取り、たまたま語学要件を満たしていたので参加しようと決めました。なのであまり英語を話すのも上手くなかったし、なにか入念に準備してから行ったというわけではありませんでした。もちろんそれを後悔しなかったと言えは嘘になります。現地ではもっと英語を上手く話せるように練習してくれば良かったと何百回、何千回と思ったし、挫折しかけた時もありました。しかし私がもっと大事だと思うのは状況は自分でいくらでも変えることができるということです。私は元々日本にいる時からあまり人に話しかけるタイプではなく、日本にいる時は友人ができるか不安で仕方なかったです。しかし、アメリカで、少しの勇気を持って話しかけることで多くの友人を持つことができました。むやみやたらと色んな人に話しかければいいということではなく、自分が仲良くなりたいと思う人だけでも十分なので、話しかけてみてください。そして相手のことや国についてたくさん聞いてみてください。私が今回の留学で最も学んだことはもちろん違う文化や価値観についてや、他国から見た日本の立ち位置についてもありますが、同時に国や文化が違っても分かり合えるということです。とてもありきたりなことかもしれませんが、とても大事なことでした。たとえあまり英語がうまくなくても、よく聞きとれなくてもとりあえず何かを頑張ってみようと思えば必ず理解してくれます。なのでどんどん挑戦してみてください。もちろん大変なことや辛いこともたくさんありますが、その分多くのことを学べるはずですよ。これを見てくれている人がいるなら、その方が実りのある留学生活を送れることを祈っています。